

2022年12月14日

関係各位

マネックス証券株式会社

ポイント投資に関する調査結果を公表

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：清明祐子、以下「マネックス証券」）は、2022年10月20日（木）より、マネックスポイントによるポイント投資を開始いたしました。開始から1か月が経過したタイミングで、マネックスポイントの利用状況を調査しましたのでその結果を公表いたします。

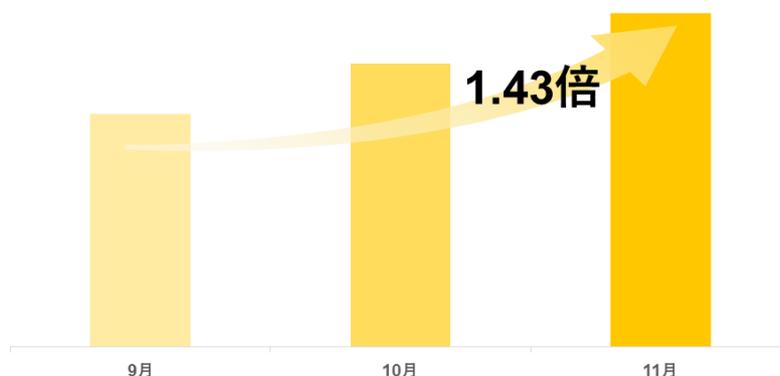
【調査結果要旨】

- ・交換されたマネックスポイントのポイント数は9月から1.43倍に（1-1）
- ・交換されたマネックスポイントの交換件数は9月から1.47倍に（1-2）
- ・マネックスポイントの交換先はポイント投資開始後、ポイント投資が一番人気に（2-1、2-2）
- ・ポイント投資先としては信託報酬率の低いファンドとともにリスクの高いファンドがランクイン（3-1）

【1. マネックスポイント利用状況】

1-1 直近3か月で交換されたマネックスポイントのポイント数

交換されたポイント数

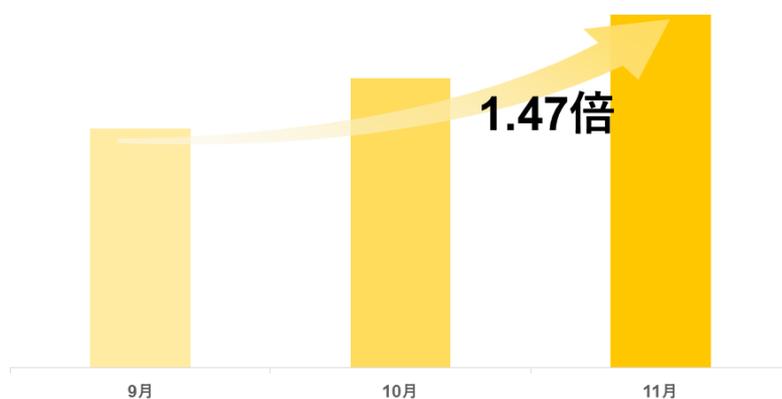


COPYRIGHT © MONEX, Inc.

 MONEX

1-2 直近3か月で交換されたマネックスポイントの交換件数

マネックスポイントの交換件数



COPYRIGHT © MONEX, Inc.



1 か月ごとのマネックスポイントの交換状況を見るとマネックスポイントのポイント投資が始まった10月以降、交換されるポイント数も、交換される件数も大幅に増えました。増加分の交換先はポイント投資が大半を占めており、ポイント投資がマネックスポイントの使用先としてとても魅力的であり、ポイントの利用意向が高まったことが分かります。

【2.ポイント交換先人気ランキング】

2-1 9月のマネックスポイント交換先ランキング

9月マネックスポイント交換先ランキング（件数順）

順位	交換先
1	Tポイント
2	Amazonギフト券
3	Pontaポイント
4	dポイント
5	暗号資産 ビットコイン
6	nanacoポイント
7	WAONポイント
8	暗号資産 イーサリアム
9	日本赤十字社への寄付 (ウクライナ人道危機救援金)
10	暗号資産 リップル

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



2-2 10月、11月のマネックスポイント交換先ランキング

10月、11月マネックスポイント交換先ランキング（件数順）

順位	交換先
1	マネックスポイント投信買付
2	Tポイント
3	Amazonギフト券
4	Pontaポイント
5	dポイント
6	nanacoポイント
7	暗号資産 ビットコイン
8	WAONポイント
9	暗号資産 イーサリアム
10	暗号資産 リップル

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



ポイント投資を開始した10月以降、10月、11月共に、ポイントでの投信買付（ポイント投資）がランキング1位となりました。貯まったポイントを現金として使用するのではなく、更なる投資の原資として使用したいという意向が強いことが見て取れます。ポイント投資は、お客様の資産運用の期待に確かに応えたサービスとなりました。ポイント投資のランクインによりランク外となってしまいましたが、日本赤十字社への寄付（ウクライナの人道危機救援金）も継続的に行われており、ポイントを寄付する方が一定数いることも分かっています。

【3.ポイント交換先人気ランキング】

3-1 マネックスポイント交換先投資信託人気銘柄ランキング

マネックスポイント交換先人気銘柄ランキング（件数順）

順位	交換先
1	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）
2	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）
3	iFreeレバレッジNASDAQ100
4	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド
5	Tracers S&P500配当貴族インデックス（米国株式）
6	楽天・全米株式インデックス・ファンド
7	eMAXIS NASDAQ100インデックス
8	eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）
9	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型
10	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



件数順、利用ポイント数順、ともに同じ結果になりました。信託報酬率の低いファンドへの投資人気が顕著に表れています。更に、リスクの高い銘柄も上位にランクインしており、「ポイントを使うので、リスクを取りにいける」というマインドが働いているのではないかと推察されます。また、米国株式の投資信託が人気となっており、全世界株式についても内訳の銘柄を見ると米国株式の銘柄が多数を占めているため、米国株への投資人気がこのランキングからも見て取れました。

【マネックスポイント投資について】

マネックスポイント 1 ポイントを 1 円として、投資信託の買付に利用いただけます。マネックスカードのカードショッピングや、マネックスカード投信つみたてでもマネックスポイントを貯めることができます。

例えば...

※イメージのためあくまで参考までにご覧ください。
実際には投資信託の残高が日々変動するなど異なる計算が必要になります。

貯める	使う
<p>① マネックスカードで 毎月5万円のお買い物 </p> <p>② 投信つみたて3万円を毎月 マネックスカードで決済 </p> <p>③ 投資信託の残高が 300万円 (※年率0.08%付与の場合) </p> <p>①500 + ②330 + ③200 = 1,030ポイント/月</p>	<p>年間12,360円相当の マネックスポイントを 投資信託の買付に！</p> 
<p>毎日の暮らしから 資産形成</p>	

詳しくはマネックス証券ウェブサイト

(https://info.monex.co.jp/news/2022/20221006_01.html) をご覧ください。

※ 「マネックスポイント」の利用状況を調査しており、「株式手数料充当ポイント」は調査対象から除いています。

以上

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会